

MSC スプレシティダの横浜発着クルーズ(5)

事務局長 池田良穂

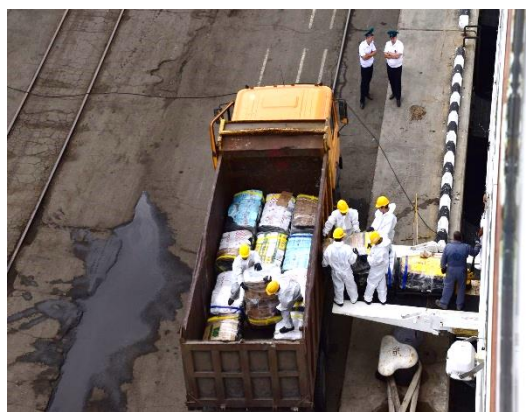
ウラジオストック港では段ボールなどの資源ごみの陸揚げが行われました。段ボールはトラック一台分がありました。こうしたクルーズ客船の固形ゴミについても、今後、調べてみたいと思いました。

さて、ツアーは各階ごとの出発になっていて、9 階のツアーは 13 時 10 分にシアターに集まるようになっていました。バスの号数の書いたステッカーを受け取り、40 分ほど待つてようやくパスポートを受け取って、上陸して、指定されたバスに乗るようになっていました。舷門でクルーズカードのチェックを受けて、すぐにロシアの入国管理官がパスポートのチェックをするだけで上陸が許可されました。

ウラジオストックの市街は、車で大渋滞。有名だという海岸まで小一時間かかりました。ここから徒歩で散策をしながら中央公園まで行き、土産物屋にも寄りました。ロシア正教の教会を見学しましたが、ロシア革命の後には破壊されてレーニン像が建てられていたのが、再建されたそうでした。

その後、橋を往復渡ってから鷺の巣公園に上りました。その後、潜水艦を見て、船に戻りました。

19 時に出港しました。港内には、在来型貨物船がたくさん荷役中でした。もちろんコンテナ船や RoRo 船もいましたが、日本の港では、たくさんの船に出会う機会が少なくなっていますが、発展途上国ではいろいろな船が見ることができるのが嬉しいです。



ウラジオストックでは段ボール等の資源ごみの陸揚げが行われていました。ちょうどトラック一杯でした。



鷲の巣展望台からの「MSC スプレンドィダ」の姿です。左にロシアの極東艦隊の船隊が停泊しています。



ウラジオストックの旅客船埠頭です。



出港時の港内でのシップウォッチングです。

そして港の外にも、いろいろな船が停泊していました。





ウラジオストックの港外にでるまで、シップウォッチングが楽しめました。



夕食前のショーです。ショーはなかなか大がかりなものが多く、見ごたえがありました。司会者の司会はいま一つでしたが、あとから聞くとクルーズディレクターではなく、東京で音楽活動をしているイタリア人に依頼したようですが、クルーズのことはあまり知らないよう

で。。。。。



夕食には、前菜にムール貝、メインにはシェフズサジェッションの肉料理を堪能しました。